

別紙2

2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

- ・ 学校法人立志舎東京IT会計法律専門学校を認定講座運営者として、株式会社サーティファイを民間資格試験及び修了認定に係る試験の問題提供及び採点を行う者として、それぞれ追加。
- ・ これに伴い認定講座を、CIW併用コースと情報処理活用能力検定（J検）併用コースとサーティファイ・情報処理技術者能力認定試験併用コースに分類。

下線部分が変更した箇所

変 更 前	変 更 後
<p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者</p> <p>(1) 講座の開設者</p> <p>CIW併用コース</p> <p>学校法人 秋葉学園 千葉情報経 理専門学校 (千葉県千葉市中央区新宿2 - 5 - 2)</p> <p>学校法人 国際理工専門学校 国 際理工専門学校 (千葉県千葉市稲毛区穴川3 - 8 - 11)</p> <p>情報処理活用能力検定（J検） 併用コース</p> <p>学校法人 三橋学園 船橋情報ビ ジネス専門学校 (千葉県船橋市本町7 - 12 - 1 6)</p> <p>(2) 修了認定に係る試験の提供者</p> <p>CIW併用コース</p> <p>任意団体 日本CIW普及育成協 議会（JACC） (東京都中央区京橋1 - 11 - 8</p>	<p>2 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者</p> <p>(1) 講座の開設者</p> <p>CIW併用コース</p> <p>学校法人 秋葉学園 千葉情報経 理専門学校 (千葉県千葉市中央区新宿2 - 5 - 2)</p> <p>学校法人 国際理工専門学校 国 際理工専門学校 (千葉県千葉市稲毛区穴川3 - 8 - 11)</p> <p>情報処理活用能力検定（J検） 併用コース</p> <p>学校法人 三橋学園 船橋情報ビ ジネス専門学校 (千葉県船橋市本町7 - 12 - 1 6)</p> <p><u>サーティファイ・情報処理技術 者能力認定試験併用コース</u> <u>学校法人 立志舎 東京IT会 計法律専門学校千葉校</u> <u>(千葉県千葉市中央区弁天1 - 6 - 2)</u></p> <p>(2) 修了認定に係る試験の提供者</p> <p>CIW併用コース</p> <p>任意団体 日本CIW普及育成協 議会（JACC） (東京都中央区京橋1 - 11 - 8</p>

変 更 前	変 更 後
<p>西銀ビル5 F)</p> <p>情報処理活用能力検定 (J 検) 併用コース 財団法人 専修学校教育振興会 (東京都千代田区九段北 4 - 2 - 2 5 私学会館内)</p>	<p>西銀ビル5 F)</p> <p>情報処理活用能力検定 (J 検) 併用コース 財団法人 専修学校教育振興会 (東京都千代田区九段北 4 - 2 - 2 5 私学会館内)</p> <hr/> <p><u>サーティファイ・情報処理技術 者能力認定試験併用コース</u> <u>株式会社サーティファイ</u> <u>(東京都中央区京橋 3 - 3 - 1 4</u> <u>京橋AKビル)</u></p>

4 特定事業の内容

- ・ 学校法人立志舎東京 I T 会計法律専門学校を認定講座運営者として、株式会社サーティファイを民間資格試験及び修了認定に係る試験の問題提供及び採点を行う者として、それぞれ追加することに伴い、「(1) 経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画」、「(2) 修了認定の基準」及び「(3) 修了認定に係る試験の実施方法」を変更。
- ・ 民間資格試験として、サーティファイ・情報処理技術者能力認定試験を追加することに伴い、「(4) 経済産業大臣が告示で定める民間資格の名称及びその試験項目」を変更。

下線部分が変更した箇所

変 更 前	変 更 後
<p>4 特定事業の内容</p> <p>(1) 経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画</p> <p style="padding-left: 40px;">C I W併用コース</p> <p>学校法人 秋葉学園 千葉情報経 理専門学校</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>基本情報技術者試験講座 (C I W併用コース)</p> <p style="text-align: right;">別添資料 4 のとおり</p> </div> <p>学校法人 国際理工専門学校 国 際理工専門学校</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>基本情報技術者試験講座 (C I W併用コース)</p> <p style="text-align: right;">別添資料 5 のとおり</p> </div> <p>認定講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。</p> <p>具体的には、当該認定講座の運営者は、日本C I W普及育成協議会とともに、責任をもって講座開設に向けての準備を進め、開設後も受講者に対し誠実に対応していく。</p> <p style="text-align: center;">情報処理活用能力検定 (J 検)</p>	<p>4 特定事業の内容</p> <p>(1) 経済産業大臣が告示で定める履修項目に応じた履修計画</p> <p style="padding-left: 40px;">C I W併用コース</p> <p>学校法人 秋葉学園 千葉情報経 理専門学校</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>基本情報技術者試験講座 (C I W併用コース)</p> <p style="text-align: right;">別添資料 4 のとおり</p> </div> <p>学校法人 国際理工専門学校 国 際理工専門学校</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>基本情報技術者試験講座 (C I W併用コース)</p> <p style="text-align: right;">別添資料 5 のとおり</p> </div> <p>認定講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。</p> <p>具体的には、当該認定講座の運営者は、日本C I W普及育成協議会とともに、責任をもって講座開設に向けての準備を進め、開設後も受講者に対し誠実に対応していく。</p> <p style="text-align: center;">情報処理活用能力検定 (J 検)</p>

変 更 前	変 更 後
<p>併用コース 学校法人 三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校</p> <div data-bbox="285 398 790 656" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>基本情報技術者試験講座 A コース (J 検併用コース) I T エンジニア科、情報処理科 別添資料 6 のとおり</p> </div> <p>認定講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。</p> <p>具体的には、当該認定講座の運営者は、財団法人専修学校教育振興会とともに、責任をもって講座開設に向けての準備を進め、開設後も受講者に対し誠実に対応していく。</p>	<p>併用コース 学校法人 三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校</p> <div data-bbox="900 398 1404 656" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>基本情報技術者試験講座 A コース (J 検併用コース) I T エンジニア科、情報処理科 別添資料 6 のとおり</p> </div> <p>認定講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理推進機構に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。</p> <p>具体的には、当該認定講座の運営者は、財団法人専修学校教育振興会とともに、責任をもって講座開設に向けての準備を進め、開設後も受講者に対し誠実に対応していく。</p> <p><u>サーティファイ・情報処理技術者能力認定試験併用コース</u> <u>学校法人 立志舎 東京 I T 会計法律専門学校千葉校</u></p> <div data-bbox="900 1574 1404 1776" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><u>基本情報技術者講座 (サーティファイ・情報処理技術者能力認定試験併用コース)</u> 別添資料 7 のとおり</p> </div> <p><u>認定講座の運営に当たって、履修内容の詳細について経済産業大臣もしくは独立行政法人情報処理</u></p>

変 更 前	変 更 後
<p>(2) 修了認定の基準</p> <p>CIW併用コース</p> <p>第一号及び第二号を満たした者について修了を認定する。ただし、修了認定に係る試験の試験問題が、独立行政法人情報処理推進機構の審査の結果、適切であると認められなかった場合は、第三号を満たした者について修了を認定する。</p> <p>一．民間資格試験「CIWファンデーション」試験を受験し、これに合格することによって認定される「CIWアソシエイト」資格を取得すること</p> <p>二．当該認定講座（別添資料4及び5）の3分の2以上の出席率をもって履修後、日本CIW普及育成協議会が作成した問題による修了認定に係る試験を受験し、日本CIW普及育成協議会の定める合格基準に達すること</p>	<p><u>推進機構に相談を行い、助言があった場合には対応することとする。</u></p> <p><u>具体的には、当該認定講座の運営者は、株式会社サーティファイとともに、責任をもって講座開設に向けての準備を進め、開設後も受講者に対し誠実に対応していく。</u></p> <p>(2) 修了認定の基準</p> <p>CIW併用コース</p> <p>第一号及び第二号を満たした者について修了を認定する。ただし、修了認定に係る試験の試験問題が、独立行政法人情報処理推進機構の審査の結果、適切であると認められなかった場合は、第三号を満たした者について修了を認定する。</p> <p>一．民間資格試験「CIWファンデーション」試験を受験し、これに合格することによって認定される「CIWアソシエイト」資格を取得すること</p> <p>二．当該認定講座（別添資料4及び5）の3分の2以上の出席率をもって履修後、日本CIW普及育成協議会が作成した問題による修了認定に係る試験を受験し、日本CIW普及育成協議会の定める合格基準に達すること</p>

変 更 前	変 更 後
<p>三．当該認定講座（別添資料４及び５）の３分の２以上の出席率をもって履修後、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題による修了認定に係る試験を受験し、独立行政法人情報処理推進機構の定める合格基準に達すること</p> <p>情報処理活用能力検定（Ｊ検）併用コース</p> <p>第一号及び第二号を満たした者について修了を認定する。ただし、修了認定に係る試験の試験問題が、独立行政法人情報処理推進機構の審査の結果、適切であると認められなかった場合は、第三号を満たした者について修了を認定する。</p> <p>一．民間資格試験「情報処理活用能力検定 基本スキル試験」を受験し、これに合格すること</p> <p>二．当該認定講座（別添資料６）の３分の２以上の出席率をもって履修後、財団法人専修学校教育振興会が作成した問題による修了認定に係る試験を受験し、財団法人専修学校教育振興会の定める合格基準に達すること</p> <p>三．当該認定講座（別添資料６）の３分の２以上の出席率をもって履修後、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題による修了認定に係る試験を受験</p>	<p>三．当該認定講座（別添資料４及び５）の３分の２以上の出席率をもって履修後、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題による修了認定に係る試験を受験し、独立行政法人情報処理推進機構の定める合格基準に達すること</p> <p>情報処理活用能力検定（Ｊ検）併用コース</p> <p>第一号及び第二号を満たした者について修了を認定する。ただし、修了認定に係る試験の試験問題が、独立行政法人情報処理推進機構の審査の結果、適切であると認められなかった場合は、第三号を満たした者について修了を認定する。</p> <p>一．民間資格試験「情報処理活用能力検定 基本スキル試験」を受験し、これに合格すること</p> <p>二．当該認定講座（別添資料６）の３分の２以上の出席率をもって履修後、財団法人専修学校教育振興会が作成した問題による修了認定に係る試験を受験し、財団法人専修学校教育振興会の定める合格基準に達すること</p> <p>三．当該認定講座（別添資料６）の３分の２以上の出席率をもって履修後、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題による修了認定に係る試験を受験</p>

変 更 前	変 更 後
<p>し、独立行政法人情報処理推進機構の定める合格基準に達すること</p>	<p>し、独立行政法人情報処理推進機構の定める合格基準に達すること</p> <p><u>サーティファイ・情報処理技術者能力認定試験併用コース</u> <u>第一号及び第二号を満たした者について修了を認定する。ただし、修了認定に係る試験の試験問題が、独立行政法人情報処理推進機構の審査の結果、適切であると認めらなかった場合は、第三号を満たした者について修了を認定する。</u></p> <p><u>一．民間資格試験「情報処理技術者能力認定試験２級」もしくは「情報処理技術者能力認定試験２級第1部科目」を受験し、これに合格すること</u></p> <p><u>二．当該認定講座（別添資料7）の3分の2以上の出席率をもって履修後、株式会社サーティファイが作成した問題による修了認定に係る試験を受験し、株式会社サーティファイの定める合格基準に達すること</u></p> <p><u>三．当該認定講座（別添資料7）の3分の2以上の出席率をもって履修後、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題による修了認定に係る試験を受験し、独立行政法人</u></p>

変 更 前	変 更 後
<p>(3) 修了認定に係る試験の実施方法</p> <p>C I W併用コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 修了認定に係る試験問題は、日本C I W普及育成協議会が作成したもののうち、独立行政法人情報処理推進機構の審査を受け、適切であると認められたものを使用する。当該審査に関し、日本C I W普及育成協議会は、修了認定に係る試験問題の提供者として責任をもって対応する。ただし、当該審査の結果、適切であると認められなかった場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題を利用する。 ▪ 修了認定に係る試験の実施日については、当該認定講座の運営者が指定する。 ▪ 修了認定に係る試験会場は、特別区域内に当該認定講座の運営者が指定する施設とする。 ▪ 修了認定に係る試験の採点事務は、日本C I W普及育成協議会が 	<p><u>情報処理推進機構の定める合格基準に達すること</u></p> <p><u>四．第二号及び第三号において、平成19年4月から実施されているITビジネス学科の基本情報技術者講座を履修している者にあつては、基本情報技術者講座の履修科目と重なっている科目のうち履修済の科目については履修したものとみなし、未履修科目のみを当該講座において履修すること</u></p> <p>(3) 修了認定に係る試験の実施方法</p> <p>C I W併用コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 修了認定に係る試験問題は、日本C I W普及育成協議会が作成したもののうち、独立行政法人情報処理推進機構の審査を受け、適切であると認められたものを使用する。当該審査に関し、日本C I W普及育成協議会は、修了認定に係る試験問題の提供者として責任をもって対応する。ただし、当該審査の結果、適切であると認められなかった場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題を利用する。 ▪ 修了認定に係る試験の実施日については、当該認定講座の運営者が指定する。 ▪ 修了認定に係る試験会場は、特別区域内に当該認定講座の運営者が指定する施設とする。 ▪ 修了認定に係る試験の採点事務は、日本C I W普及育成協議会が

変 更 前	変 更 後
<p>行うものとする。ただし、日本C I W普及育成協議会が認めた場合にあっては、この事務を指定した者に代行させることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 当該認定講座の修了を認めた者の氏名、生年月日及び試験結果については、当該民間資格の取得を証する写しと併せて、当該認定講座の運営者が独立行政法人情報処理推進機構に通知するものとする。 <p style="text-align: center;">情報処理活用能力検定（J検） 併用コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 修了認定に係る試験問題は、財団法人専修学校教育振興会が作成したもののうち、独立行政法人情報処理推進機構の審査を受け、適切であると認められたものを使用する。当該審査に関し、財団法人専修学校教育振興会は、修了認定に係る試験問題の提供者として責任をもって対応する。ただし、当該審査の結果、適切であると認められなかった場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題を利用する。 ▪ 修了認定に係る試験の実施日については、当該認定講座の運営者が指定する。ただし、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題を利用する場合は、独立行政法人情報処理推進機構が指定する。 ▪ 修了認定に係る試験の実施回数については、当該認定講座の履修後2回までとする。 ▪ 修了認定に係る試験会場は、特別区域内に当該認定講座の運営者が指定する施設とする。 ▪ 修了認定に係る試験の採点事務は、財団法人専修学校教育振興会が行うものとする。ただし、財団 	<p>行うものとする。ただし、日本C I W普及育成協議会が認めた場合にあっては、この事務を指定した者に代行させることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 当該認定講座の修了を認めた者の氏名、生年月日及び試験結果については、当該民間資格の取得を証する写しと併せて、当該認定講座の運営者が独立行政法人情報処理推進機構に通知するものとする。 <p style="text-align: center;">情報処理活用能力検定（J検） 併用コース</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 修了認定に係る試験問題は、財団法人専修学校教育振興会が作成したもののうち、独立行政法人情報処理推進機構の審査を受け、適切であると認められたものを使用する。当該審査に関し、財団法人専修学校教育振興会は、修了認定に係る試験問題の提供者として責任をもって対応する。ただし、当該審査の結果、適切であると認められなかった場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題を利用する。 ▪ 修了認定に係る試験の実施日については、当該認定講座の運営者が指定する。ただし、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題を利用する場合は、独立行政法人情報処理推進機構が指定する。 ▪ 修了認定に係る試験の実施回数については、当該認定講座の履修後2回までとする。 ▪ 修了認定に係る試験会場は、特別区域内に当該認定講座の運営者が指定する施設とする。 ▪ 修了認定に係る試験の採点事務は、財団法人専修学校教育振興会が行うものとする。ただし、財団

変 更 前	変 更 後
<p>法人専修学校教育振興会が認めた場合にあつては、この事務を指定した者に代行させることができる。また、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題を利用する場合は、当該認定講座の運営者が行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 当該認定講座の修了を認めた者の氏名、生年月日及び試験結果については、当該民間資格の取得を証する写しと併せて、当該認定講座の運営者が独立行政法人情報処理推進機構に通知するものとする。 	<p>法人専修学校教育振興会が認めた場合にあつては、この事務を指定した者に代行させることができる。また、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題を利用する場合は、当該認定講座の運営者が行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 当該認定講座の修了を認めた者の氏名、生年月日及び試験結果については、当該民間資格の取得を証する写しと併せて、当該認定講座の運営者が独立行政法人情報処理推進機構に通知するものとする。 <p style="text-align: center;"><u>サーティファイ・情報処理技術者能力認定試験併用コース</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ <u>修了認定に係る試験問題は、株式会社サーティファイが作成したもののうち、独立行政法人情報処理推進機構の審査を受け、適切であると認められたものを使用する。当該審査に関し、株式会社サーティファイは、修了認定に係る試験問題の提供者として責任をもって対応する。ただし、当該審査の結果、適切であると認められなかった場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題を利用する。</u> ▪ <u>修了認定に係る試験の実施日については、当該認定講座の運営者が指定する。ただし、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題を利用する場合は、独立行政法人情報処理推進機構が指定する。</u> ▪ <u>修了認定に係る試験の実施回数については、当該認定講座の履修後2回までとする。</u> ▪ <u>修了認定に係る試験会場は、特別区域内に当該認定講座の運営者が指定する施設とする。</u>

変 更 前	変 更 後																						
<p>(4) 経済産業大臣が告示で定める民間資格の名称及びその試験項目 C I W併用コース 名 称 C I Wアソシエイト 試験科目 C I Wファンデーション 試験項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">分 野</th> <th style="text-align: center;">項 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(A) インターネットの概論</td> <td>1 インターネット・コンセプト</td> </tr> <tr> <td>2 インターネット・インフラ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(B) インターネットの利用</td> <td>1 Webコンセプト</td> </tr> <tr> <td>2 Webサービスの利用</td> </tr> <tr> <td>3 データ・リサーチ</td> </tr> <tr> <td>(C) インターネットのメディア</td> <td>1 オブジェクト・データ</td> </tr> </tbody> </table>	分 野	項 目	(A) インターネットの概論	1 インターネット・コンセプト	2 インターネット・インフラ	(B) インターネットの利用	1 Webコンセプト	2 Webサービスの利用	3 データ・リサーチ	(C) インターネットのメディア	1 オブジェクト・データ	<ul style="list-style-type: none"> ▪ <u>修了認定に係る試験の採点事務は、株式会社サーティファイが行うものとする。ただし、株式会社サーティファイが認めた場合にあっては、この事務を指定した者に代行させることができる。また、独立行政法人情報処理推進機構が提供する問題を利用する場合は、当該認定講座の運営者が行う。</u> ▪ <u>当該認定講座の修了を認めた者の氏名、生年月日及び試験結果については、当該民間資格の取得を証する写しと併せて、当該認定講座の運営者が独立行政法人情報処理推進機構に通知するものとする。</u> <p>(4) 経済産業大臣が告示で定める民間資格の名称及びその試験項目 C I W併用コース 名 称 C I Wアソシエイト 試験科目 C I Wファンデーション 試験項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">分 野</th> <th style="text-align: center;">項 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">(A) インターネットの概論</td> <td>1 インターネット・コンセプト</td> </tr> <tr> <td>2 インターネット・インフラ</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(B) インターネットの利用</td> <td>1 Webコンセプト</td> </tr> <tr> <td>2 Webサービスの利用</td> </tr> <tr> <td>3 データ・リサーチ</td> </tr> <tr> <td>(C) インターネットのメディア</td> <td>1 オブジェクト・データ</td> </tr> </tbody> </table>	分 野	項 目	(A) インターネットの概論	1 インターネット・コンセプト	2 インターネット・インフラ	(B) インターネットの利用	1 Webコンセプト	2 Webサービスの利用	3 データ・リサーチ	(C) インターネットのメディア	1 オブジェクト・データ
分 野	項 目																						
(A) インターネットの概論	1 インターネット・コンセプト																						
	2 インターネット・インフラ																						
(B) インターネットの利用	1 Webコンセプト																						
	2 Webサービスの利用																						
	3 データ・リサーチ																						
(C) インターネットのメディア	1 オブジェクト・データ																						
分 野	項 目																						
(A) インターネットの概論	1 インターネット・コンセプト																						
	2 インターネット・インフラ																						
(B) インターネットの利用	1 Webコンセプト																						
	2 Webサービスの利用																						
	3 データ・リサーチ																						
(C) インターネットのメディア	1 オブジェクト・データ																						

変 更 前		変 更 後	
(D) セキュリティの技術	1 セキュリティ・リテラシー	(D) セキュリティの技術	1 セキュリティ・リテラシー
	2 セキュリティ・マネジメント		2 セキュリティ・マネジメント
	3 セキュリティ・テクノロジー		3 セキュリティ・テクノロジー
	4 ファイアウォール		4 ファイアウォール
(E) eビジネスの設計	1 eコマース	(E) eビジネスの設計	1 eコマース
	2 マネジメント・ナレッジ		2 マネジメント・ナレッジ
(F) ネットワークの基礎	1 ネットワーク・コンセプト	(F) ネットワークの基礎	1 ネットワーク・コンセプト
	2 ネットワーク・アーキテクチャ		2 ネットワーク・アーキテクチャ
(G) ネットワークの設計	1 ネットワーク・コンポーネント	(G) ネットワークの設計	1 ネットワーク・コンポーネント
	2 ネットワーク・テクノロジー		2 ネットワーク・テクノロジー
(H) インターネットワーキング	1 インターネット・アーキテクチャ	(H) インターネットワーキング	1 インターネット・アーキテクチャ
	2 ネットワーク・デザイン		2 ネットワーク・デザイン
	3 ネットワーク・マネジメント		3 ネットワーク・マネジメント
(I) インターネットサービスの構成	1 サービス・コンポーネント	(I) インターネットサービスの構成	1 サービス・コンポーネント
	2 サービス・コンポーネント		2 サービス・コンポーネント
	3 サービス・コンポーネント		3 サービス・コンポーネント
(J) システムの開発	1 サーバサイド・スクリプト	(J) システムの開発	1 サーバサイド・スクリプト

変 更 前		変 更 後									
	2 データベース		2 データベース								
(K) サイト開発の基礎	1 サイトデザイン・コンセプト	(K) サイト開発の基礎	1 サイトデザイン・コンセプト								
	2 HTML		2 HTML								
(L) サイト開発の実践	1 HTMLコーディング	(L) サイト開発の実践	1 HTMLコーディング								
	2 HTMLコーディング		2 HTMLコーディング								
	3 HTMLコーディング		3 HTMLコーディング								
	4 HTMLコーディング		4 HTMLコーディング								
(M) サイト開発の応用	1 ツールの使用	(M) サイト開発の応用	1 ツールの使用								
	2 拡張言語テクノロジー		2 拡張言語テクノロジー								
	3 拡張言語テクノロジー		3 拡張言語テクノロジー								
<p>当該民間資格試験 に使用する言語 日本語</p> <p>当該試験事業が開 始された日 平成13年 6月</p> <p>情報処理活用能力検定（J検） 併用コース</p> <p>名 称 情報処理活用能力検定 （基本スキル試験）</p> <p>試験科目 情報処理活用能力検定 （基本スキル試験）</p> <p>試験項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分 野</th> <th>項 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンピュータ科 学基礎</td> <td>(1) 数値表現とデー タ表現の種類 基数と基数変換</td> </tr> </tbody> </table>		分 野	項 目	コンピュータ科 学基礎	(1) 数値表現とデー タ表現の種類 基数と基数変換	<p>当該民間資格試験 に使用する言語 日本語</p> <p>当該試験事業が開 始された日 平成13年 6月</p> <p>情報処理活用能力検定（J検） 併用コース</p> <p>名 称 情報処理活用能力検定 （基本スキル試験）</p> <p>試験科目 情報処理活用能力検定 （基本スキル試験）</p> <p>試験項目</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分 野</th> <th>項 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コンピュータ科 学基礎</td> <td>(1) 数値表現とデー タ表現の種類 基数と基数変換</td> </tr> </tbody> </table>		分 野	項 目	コンピュータ科 学基礎	(1) 数値表現とデー タ表現の種類 基数と基数変換
分 野	項 目										
コンピュータ科 学基礎	(1) 数値表現とデー タ表現の種類 基数と基数変換										
分 野	項 目										
コンピュータ科 学基礎	(1) 数値表現とデー タ表現の種類 基数と基数変換										

変 更 前		変 更 後	
	データの表現単位 補助単位とべき乗表現 (2)数値とデータの表現方法 10進数表現 2進数表現 16進数表現 固定小数点表記 浮動小数点表記 (3)演算と精度 数値表現の精度 演算と精度 数値表現と誤差 (4)文字の表現 各種文字コード (5)その他のデータ表現 データの符号化 画像データ 音声データ (6)情報と論理 集合と論理 論理演算 (7)基本データ構造 基本データ型 基本データ構造 その他のデータ構造		データの表現単位 補助単位とべき乗表現 (2)数値とデータの表現方法 10進数表現 2進数表現 16進数表現 固定小数点表記 浮動小数点表記 (3)演算と精度 数値表現の精度 演算と精度 数値表現と誤差 (4)文字の表現 各種文字コード (5)その他のデータ表現 データの符号化 画像データ 音声データ (6)情報と論理 集合と論理 論理演算 (7)基本データ構造 基本データ型 基本データ構造 その他のデータ構造
コンピュータシステム	(1)プロセッサアーキテクチャ CPUの機能	コンピュータシステム	(1)プロセッサアーキテクチャ CPUの機能

変 更 前		変 更 後	
	命令実行制御 命令のアドレス 形式 演算の仕組み 高速化技術		命令実行制御 命令のアドレス 形式 演算の仕組み 高速化技術
	(2)メモリアーキテ クチャ 半導体メモリの 種類・特徴 キャッシュメモ リ メモリ的高速化		(2)メモリアーキテ クチャ 半導体メモリの 種類・特徴 キャッシュメモ リ メモリ的高速化
	(3)バスアーキテク チャ バスの種類・特 徴		(3)バスアーキテク チャ バスの種類・特 徴
	(4)補助記憶 補助記憶装置の 種類・特徴 性能計算		(4)補助記憶 補助記憶装置の 種類・特徴 性能計算
	(5)入出力アーキテ クチャ 入出力装置の種 類・特徴 入出力インター フェース 入出力制御方式		(5)入出力アーキテ クチャ 入出力装置の種 類・特徴 入出力インター フェース 入出力制御方式
	(6)オペレーティン グシステム OSの機能と種 類・特徴 ジョブ管理 タスク管理 記憶管理		(6)オペレーティン グシステム OSの機能と種 類・特徴 ジョブ管理 タスク管理 記憶管理

変 更 前		変 更 後										
	(7)ファイル管理 ファイルの構成 ・特徴 ファイルの記憶 容量計算 ファイル編成と アクセス手法		(7)ファイル管理 ファイルの構成 ・特徴 ファイルの記憶 容量計算 ファイル編成と アクセス手法									
当該民間資格試験 に使用する言語	日本語	当該民間資格試験 に使用する言語	日本語									
当該試験事業が開 始された日	平成6年6月	当該試験事業が開 始された日	平成6年6月									
		サーティファイ・情報処理技術者能 力認定試験併用コース										
		名 称 情報処理技術者能力認定試 験(2級)										
		試験科目 情報処理技術者能力認定試 験(2級第1部)										
		試験項目										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>分 野</th> <th>項 目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1 情報の基礎 理論</td> <td>基数変換、データ 表現、演算と精 度、論理演算、符 号理論</td> </tr> <tr> <td>状態遷移、グラフ 理論、オートマト ンと形式言語</td> </tr> <tr> <td>計算量と情報量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2 データ構造 とアルゴリズム</td> <td>データ構造、アル ゴリズムの基礎</td> </tr> <tr> <td>流れ図、決定表、 BN記法、ポーラン ド記法</td> </tr> </tbody> </table>		分 野	項 目	1 情報の基礎 理論	基数変換、データ 表現、演算と精 度、論理演算、符 号理論	状態遷移、グラフ 理論、オートマト ンと形式言語	計算量と情報量	2 データ構造 とアルゴリズム	データ構造、アル ゴリズムの基礎	流れ図、決定表、 BN記法、ポーラン ド記法
分 野	項 目											
1 情報の基礎 理論	基数変換、データ 表現、演算と精 度、論理演算、符 号理論											
	状態遷移、グラフ 理論、オートマト ンと形式言語											
	計算量と情報量											
2 データ構造 とアルゴリズム	データ構造、アル ゴリズムの基礎											
	流れ図、決定表、 BN記法、ポーラン ド記法											

変 更 前	変 更 後	
		各種アルゴリズム、アルゴリズムの効率
	3 ハードウェア	半導体と集積回路 プロセッサ、動作原理
		メモリ、記憶媒体、補助記憶装置
		入出力インターフェース、入出力装置、接続形態・接続媒体
		コンピュータの種類と特徴
	4 基本ソフトウェア	OSの種類と構成
		プロセス管理、割り込み制御
		主記憶管理、仮想記憶
		入出力制御、ジョブ管理
		ファイル管理、障害管理
		ヒューマンインタフェース、日本語処理
		ミドルウェア
	5 システム構成と方式	システム構成方式、処理形態
	システム性能、信頼性	
	応用システム	

変 更 前	変 更 後	
	6 システム開発と運用	プログラム構造、 制御構造
		プログラム言語、 言語処理系
		EUC、EUD、ソフト ウェアの利用
		開発手法、設計手 法、テスト手法
		システムの環境整 備、運用管理
	7 ネットワー ク技術	プロトコルと伝送 制御
		符号化と伝送技術
		LANとインターネッ ト
		電気通信サービス
		ネットワーク性能
		伝送媒体、通信装 置
		ネットワークソフ ト
	8 データベー ス技術	データベースモデ ル
		データの分析・正 規化
		データ操作
		データベース言 語、SQLの利用
		DBMSの機能と特徴
		データベース制御 機能（排他制御、

変 更 前	変 更 後																																																		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="868 241 1107 295"></td> <td data-bbox="1107 241 1417 295"><u>リカバリ)</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 295 1107 349">9 <u>セキュリティ</u></td> <td data-bbox="1107 295 1417 349"><u>セキュリティ対策</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 349 1107 403"></td> <td data-bbox="1107 349 1417 403"><u>プライバシー保護</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 403 1107 483"></td> <td data-bbox="1107 403 1417 483"><u>ガイドライン</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 483 1107 537">10 <u>標準化</u></td> <td data-bbox="1107 483 1417 537"><u>情報システム基盤</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 537 1107 591"></td> <td data-bbox="1107 537 1417 591"><u>の標準化</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 591 1107 645"></td> <td data-bbox="1107 591 1417 645"><u>データの標準化</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 645 1107 698"></td> <td data-bbox="1107 645 1417 698"><u>標準化組織</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 698 1107 752">11 <u>情報化と経営</u></td> <td data-bbox="1107 698 1417 752"><u>経営管理（経営戦</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 752 1107 806"></td> <td data-bbox="1107 752 1417 806"><u>略、組織と役割、</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 806 1107 860"></td> <td data-bbox="1107 806 1417 860"><u>マーケティングな</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 860 1107 913"></td> <td data-bbox="1107 860 1417 913"><u>ど)</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 913 1107 967"></td> <td data-bbox="1107 913 1417 967"><u>情報化戦略（業務</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 967 1107 1021"></td> <td data-bbox="1107 967 1417 1021"><u>改善など)</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 1021 1107 1075"></td> <td data-bbox="1107 1021 1417 1075"><u>IE分析手法、管理</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 1075 1107 1128"></td> <td data-bbox="1107 1075 1417 1128"><u>図</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 1128 1107 1182"></td> <td data-bbox="1107 1128 1417 1182"><u>確率と統計</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 1182 1107 1236"></td> <td data-bbox="1107 1182 1417 1236"><u>最適化問題、意思</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 1236 1107 1290"></td> <td data-bbox="1107 1236 1417 1290"><u>決定理論</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 1290 1107 1344"></td> <td data-bbox="1107 1290 1417 1344"><u>情報システムの活</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 1344 1107 1397"></td> <td data-bbox="1107 1344 1417 1397"><u>用（ビジネスシス</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 1397 1107 1451"></td> <td data-bbox="1107 1397 1417 1451"><u>テム、企業間シス</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 1451 1107 1505"></td> <td data-bbox="1107 1451 1417 1505"><u>テムなど)</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 1505 1107 1559"></td> <td data-bbox="1107 1505 1417 1559"><u>関連法規（情報通</u></td> </tr> <tr> <td data-bbox="868 1559 1107 1612"></td> <td data-bbox="1107 1559 1417 1612"><u>信、知的財産権)</u></td> </tr> </table> <p data-bbox="868 1657 1417 1859"> <u>当該民間資格試験</u> <u>に使用する言語</u> <u>日本語</u> <u>当該試験事業が</u> <u>開始された日</u> <u>昭和58年4月</u> </p>		<u>リカバリ)</u>	9 <u>セキュリティ</u>	<u>セキュリティ対策</u>		<u>プライバシー保護</u>		<u>ガイドライン</u>	10 <u>標準化</u>	<u>情報システム基盤</u>		<u>の標準化</u>		<u>データの標準化</u>		<u>標準化組織</u>	11 <u>情報化と経営</u>	<u>経営管理（経営戦</u>		<u>略、組織と役割、</u>		<u>マーケティングな</u>		<u>ど)</u>		<u>情報化戦略（業務</u>		<u>改善など)</u>		<u>IE分析手法、管理</u>		<u>図</u>		<u>確率と統計</u>		<u>最適化問題、意思</u>		<u>決定理論</u>		<u>情報システムの活</u>		<u>用（ビジネスシス</u>		<u>テム、企業間シス</u>		<u>テムなど)</u>		<u>関連法規（情報通</u>		<u>信、知的財産権)</u>
	<u>リカバリ)</u>																																																		
9 <u>セキュリティ</u>	<u>セキュリティ対策</u>																																																		
	<u>プライバシー保護</u>																																																		
	<u>ガイドライン</u>																																																		
10 <u>標準化</u>	<u>情報システム基盤</u>																																																		
	<u>の標準化</u>																																																		
	<u>データの標準化</u>																																																		
	<u>標準化組織</u>																																																		
11 <u>情報化と経営</u>	<u>経営管理（経営戦</u>																																																		
	<u>略、組織と役割、</u>																																																		
	<u>マーケティングな</u>																																																		
	<u>ど)</u>																																																		
	<u>情報化戦略（業務</u>																																																		
	<u>改善など)</u>																																																		
	<u>IE分析手法、管理</u>																																																		
	<u>図</u>																																																		
	<u>確率と統計</u>																																																		
	<u>最適化問題、意思</u>																																																		
	<u>決定理論</u>																																																		
	<u>情報システムの活</u>																																																		
	<u>用（ビジネスシス</u>																																																		
	<u>テム、企業間シス</u>																																																		
	<u>テムなど)</u>																																																		
	<u>関連法規（情報通</u>																																																		
	<u>信、知的財産権)</u>																																																		